



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 本州化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福山 裕二
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和田 和興 (TEL) 03-3272-1482
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	9,372	17.1	1,597	113.6	1,551	114.8	841	146.6
29年3月期第2四半期	8,001	△18.0	747	△39.1	722	△40.5	341	△31.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,590百万円(-%) 29年3月期第2四半期 137百万円(△84.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	73.33	—
29年3月期第2四半期	29.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	26,637	18,429	61.1
29年3月期	25,450	17,311	60.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 16,274百万円 29年3月期 15,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00
30年3月期	—	10.00			
30年3月期(予想)			—	16.00	26.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,900	8.8	2,500	22.1	2,400	19.8	1,200	21.6	104.56

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付書類4ページ(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	11,500,000株	29年3月期	11,500,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	23,104株	29年3月期	23,067株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	11,476,918株	29年3月期2Q	11,476,933株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済情勢の不透明感がやや緩和する中、内外需の持ち直しや為替相場の安定により、企業収益、雇用情勢、所得環境が改善し、全体的に緩やかに回復しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、自動車用特殊ビスフェノールや半導体関連の電子材料、ビフェノールの需要が堅調に推移しました。一方、クレゾール誘導品においては競合他社との競争や需要減少により、厳しい状況が続きました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は9,372百万円（前年同四半期比17.1%増）、営業利益1,597百万円（同113.6%増）、経常利益1,551百万円（同114.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益841百万円（同146.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

<化学品>

・クレゾール誘導品

クレゾール誘導品は、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料や、電子材料及び酸化防止剤等の原料として使用されております。

当第2四半期連結累計期間においては、厳しい競合状況から販売低迷が継続したため、売上高は前年同四半期を下回りました。

・ビフェノール他

ビフェノールは、パソコン、スマートフォンやデジタル家電等の情報通信機器の電子部品に用いられる液晶ポリマー（LCP）の原料や医療分野等で使用されるポリフェニルスルホン（PPSU）の原料として使用されております。

また、ビスフェノールFを使用したエポキシ樹脂は土木・建設材料用途に使用されております。

当第2四半期連結累計期間においては、パソコン市場等の伸び悩みによりLCP向けの販売は前年並みでしたが、PPSU向けが増加しました。ビスフェノールFの販売も好調であったことから、売上高は前年同四半期を上回りました。

この結果、化学品セグメントの当第2四半期連結累計期間における売上高は3,637百万円（前年同四半期比3.2%増）、総売上高に占める割合は38.8%となり、セグメント利益は427百万円（同466.4%増）となりました。

<機能材料>

・電子材料

当社の電子材料は、半導体及びフラットパネルディスプレイ（液晶・有機ELディスプレイ）等の製造過程で使用されております。

当第2四半期連結累計期間においては、スマートフォン他、IT機器向け電材需要が堅調に推移したため、当社電子材料も引き続き販売が拡大し、売上高は前年同四半期を上回りました。

・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールを原料とした樹脂は、耐熱性、光学特性に優れているため、特殊ポリカーボネート樹脂（自動車用部品、光学・電子部品用途向け）や特殊エポキシ樹脂（半導体封止材、積層板用途向け）の原料として使用されております。

当第2四半期連結累計期間においては、光学部品用途向け樹脂原料等が堅調に推移したため、売上高は前年同四半期を上回りました。

この結果、機能材料セグメントの当第2四半期連結累計期間における売上高は、1,933百万円（前年同四半期比10.9%増）、総売上高に占める割合は20.6%となり、セグメント利益は392百万円（同153.7%増）となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

自動車部品用途向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のハイビス社において製造販売しております。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き需要が好調に推移しており、為替変動の影響もあり、売上高は前年同四半期を上回りました。

・受託品

受注数量が増加したため、売上高は前年同四半期を上回りました。

この結果、工業材料セグメントの当第2四半期連結累計期間における売上高は、3,588百万円（前年同四半期比39.5%増）、総売上高に占める割合は38.3%となり、セグメント利益は1,105百万円（同14.7%増）となりました。

<その他部門>

販売用役等のその他部門の当第2四半期連結累計期間における売上高は212百万円（前年同四半期比33.1%増）、総売上高に占める割合は2.3%となり、セグメント利益は11百万円（前年同四半期は47百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、現金及び預金の増加（862百万円）、売掛金の減少（11百万円）、商品及び製品の減少（66百万円）等により、対前年度末比1,014百万円増加し、16,213百万円となりました。

固定資産は、対前年度末比171百万円増加し、10,423百万円となりました。

この結果資産合計は、対前年度末比1,186百万円増加し、26,637百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加（42百万円）、未払法人税等の増加（120百万円）、長期借入金の減少（239百万円）等により、対前年度末比67百万円増加し、8,207百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加（658百万円）、為替換算調整勘定の増加（253百万円）、非支配株主持分の増加（156百万円）等により、対前年度末比1,118百万円増加し、18,429百万円となりました。

この結果、自己資本比率は61.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表しました業績見通しの数字について、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて、以下の通り修正しております。

当第2四半期連結累計期間の営業利益が当初の予想を上回って推移し、また今後も自動車用特殊ビスフェノールや半導体関連の電子材料、ビスフェノールの堅調な需要が継続する見込みであることから、当社グループの平成30年3月期通期の業績は、前回発表の予想よりも増収・増益となる見通しです。

平成30年3月期通期業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,500	2,100	2,000	1,000	87.13
今回修正予想(B)	18,900	2,500	2,400	1,200	104.56
増減額(B-A)	400	400	400	200	
増減率(%)	2.2	19.0	20.0	20.0	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	17,373	2,047	2,003	986	86.00

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,313	7,176
売掛金	4,691	4,679
商品及び製品	3,016	2,950
仕掛品	270	248
原材料及び貯蔵品	645	915
その他	261	243
流動資産合計	15,199	16,213
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	6,714	6,757
その他(純額)	2,685	2,841
有形固定資産合計	9,400	9,599
無形固定資産	48	38
投資その他の資産	803	786
固定資産合計	10,251	10,423
資産合計	25,450	26,637
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,714	1,756
短期借入金	1,958	1,797
未払法人税等	307	427
役員賞与引当金	15	7
その他	1,120	1,455
流動負債合計	5,116	5,444
固定負債		
長期借入金	239	—
役員退職慰労引当金	55	20
退職給付に係る負債	1,797	1,844
その他	930	897
固定負債合計	3,023	2,762
負債合計	8,139	8,207

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	12,892	13,550
自己株式	△14	△14
株主資本合計	15,391	16,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60	77
為替換算調整勘定	△90	162
退職給付に係る調整累計額	△50	△16
その他の包括利益累計額合計	△80	224
非支配株主持分	1,999	2,155
純資産合計	17,311	18,429
負債純資産合計	25,450	26,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	8,001	9,372
売上原価	6,322	6,839
売上総利益	1,678	2,532
販売費及び一般管理費	930	934
営業利益	747	1,597
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	3
為替差益	1	13
還付所得税等	2	—
その他	5	2
営業外収益合計	12	19
営業外費用		
支払利息	25	22
撤去費用	3	8
固定資産除却損	9	6
事業撤退損	—	26
その他	0	0
営業外費用合計	38	64
経常利益	722	1,551
税金等調整前四半期純利益	722	1,551
法人税等	188	473
四半期純利益	533	1,078
非支配株主に帰属する四半期純利益	192	237
親会社株主に帰属する四半期純利益	341	841

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	533	1,078
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	16
為替換算調整勘定	△460	460
退職給付に係る調整額	40	34
その他の包括利益合計	△396	511
四半期包括利益	137	1,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151	1,146
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	444

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,526	1,743	2,572	7,841	159	8,001	—	8,001
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,526	1,743	2,572	7,841	159	8,001	—	8,001
セグメント利益又は セグメント損失(△)	75	154	963	1,193	△47	1,145	△397	747

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△397百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△397百万円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,637	1,933	3,588	9,159	212	9,372	—	9,372
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,637	1,933	3,588	9,159	212	9,372	—	9,372
セグメント利益	427	392	1,105	1,925	11	1,936	△338	1,597

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△338百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△338百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。